

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間:2022/07/01 ~2022/08/01)

1. 勉学の状況

セミスター開始第1週に、同級生におすすめされた Social Planning とあらかじめ取得予定だった授業4つ(Planning Theory, Strategic Urban Planning, Introduction to Management, Innovation Management)に参加。授業の内容、授業の雰囲気、自身の経験、自身の英語力の4点から Planning Theory を落とし、Social Planning の授業を取得。ほとんどの授業は、オンラインで Lecture (講義)を受け、課題図書を読んで Tutorial (グループディスカッション、意見交換、ワークショップ)を受けるという形。授業内容に関してはまさに想像していた通り、世界一住みやすい街と言われるメルボルンの City Planner として活躍した方によるメルボルンを題材にする都市計画に関する授業を受けており、非常に満足している。一方で、やはり生きた英語(特にローカル)をしっかりと理解してグループディスカッションに参加するには苦労している。事前学習をしっかりと行って授業に挑むことでなんとかついていけている。これからエッセイなどの課題も出てくるため大変になると思うが、このような経験をすることは2度とないだろうから後悔のないように努力する。

2. 生活の状況

まだ、友人も少ないため、週に2日ほど友人とご飯を食べに行ったりしているが基本的には一人で生活している。なぜだか分からないが、留学生にはオランダ出身の学生が多い。一方で現地の人々と比較し、留学生の英語は聞き取りやすいためコミュニケーションが取りやすい。

クラブ活動の一つとして大学の日本人会みたいなものがあれば入ると良いなと考えていたが、残念ながらなかった。どうやら日本人はごく少数しかいないようだ。心の拠り所の一つにしようと考えていたため、残念だ。サーフクラブには申し込んだ。クラブ主催のイベントが楽しみだ。

オーストラリア内でメルボルンは食文化が豊かだと聞いていたため少し楽しみにしていたが、やはり日本の食文化は至高である。そして、物価が高く、お金がかかる。

一方で、さまざまな文化の多様性をさまざまな場面で感じる(例:ゲイカップルや言語、文化に対する享受性など)。イギリスに短期留学で行った際には、ロンドンで差別的な声(言葉自体ではなく言い方)をかけられたり、なんとなく疎外感を感じるがあったが、メルボルンでは街中やお店でそのようなことを感じることは一切ない。人々も非常にオープンマインドで、話しかけやすいし優しい。また、どのスーパーでもアジアフードのコーナーがあるため、精神的にも物理的にも生活しやすい。メルボルンを留学先に選んで良かったなと思っている。これから勉学面、生活面ともに更に楽しんでいきたい。

海外派遣留学プログラム報告書 (報告期間：2022/8/01 ～2022/10/30)

1. 勉学の状況

最終課題が終了した。それぞれなかなかのボリュームがあり、授業の内容も非常にボリュームがあったため全部ひっくるめて充実した勉学生活だった。日本で留学経験のある現地の方と話している中で確かなあと感じたことがあったのでそれについて書こうと思う。日本の大学は比較的、課題はそこまで難しくないので多く、多くは個人で行う。また、大学の同じ学部や同じ授業を受けている友人との関係性が深い。(例えば、2限終わりに一緒にご飯を食べに行ったり)一方でオーストラリアの大学では難しく時間のかかる課題が多く、ほとんどの授業(自分が受けたクラスは全部)でグループで取り組む課題が存在した。一方で、学部やクラスの中での友達同士の関係性は薄くそれぞれで高校やクラブの友人と遊んでいることが多い。なんとなく、社会人になるとこういう関係性で仕事をするのだろうなと感じた。

特に難しかったけど充実した学びがあったクラスは **Social Planning** だ。最終課題では、**international students isolation problem** について先行研究と友人に向けたアンケート、**City of Melbourne** の提示している解決方法を参考にしながら 2500 words 程度で論じた。それぞれの課題には明確な点数基準が存在し(例えば、引用 10 個で 5 点、20 個で 10 点。)、それに準じて書く必要があるため常にそれに意識を向けながら書くのは難しかったが、ガイドラインでもあるから計画は立てやすかった。

2. 生活の状況

友達は 100 人もできなかった。大体 10 人くらいだ。まあ、良しとしたい。ランチしたり、コーヒーを飲んだり。元々、エスプレッソよりもフィルター派だから当初はあまりわからなかったメルボルンのコーヒー文化も最近は分かるようになってきて、カフェに行くのも楽しくなってきた。基本的にマスクをしなくて良いことはストレスがなくて良い。ほっぺにニキビができないのはもちろん、マスクをつけるのを忘れていて周りの人から嫌な目で見られることもない。本当にロックダウンしていた時期があった国なのかと疑うほどフリーである。最近は課題課題で特に何かしたわけではないから面白いエピソードはない。一方で、オーストラリア留学に役立つ情報として寮探しは適当にしない方が良いことをお伝えしたい。しっかりと自分の住む環境として必要なもの(例えば、開閉式の窓など)を伝えてそれが揃っているかどうかを先に確認しなければならない。これは当たり前だろと思うこともしっかり伝える必要がある。高いお金を払っていても不満を感じて後で引越することは非常に面倒臭いから事前準備は大切だ。後、オーストラリアには仕事をしながらも多いためしっかりプッシュしないとなかなか事が進まない。ここも注意すべき点だ。

それもこれもひっくるめて、非常に楽しい生活をできているし、これからも充実させていきたい。